



さいじょう

令和7(2025)年5月1日発行

市議会だより

第88号

特集

みずき議員の
もっと知りたい 西条市議会 P9
防災訓練を実施しました P12
議員研修会を開催しました P12



みずきの
ええとご発見!



あけぼのつつじと石鎚山

～黒川山から望む～

撮影者 山地栄次 さん

3月定例会

令和6年度補正予算（総額28億300万3千円） 令和7年度当初予算（総額850億7,414万4千円） 令和7年度補正予算（総額77万4千円）を可決

令和7年第2回3月定例会は、3月4日から3月26日まで開催され、議案39件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。

また、交渉会派の代表者が代表質問を、議員14人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に3ページから8ページに掲載しています。



3月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議案第12号	令和6年度西条市一般会計補正予算（第10回）について	原案可決	議案第35号	西条市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第13号	令和6年度西条市国民健康保険特別会計補正予算（第4回）について		議案第36号	西条市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第14号	令和6年度西条市介護保険特別会計補正予算（第5回）について		議案第37号	西条市立診療所設置及び管理条例の一部を改正する条例について	
議案第15号	令和6年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計補正予算（第2回）について		議案第39号	西条市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第16号	令和6年度西条市内財産区特別会計補正予算（第1回）について		議案第40号	西条市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第17号	令和6年度西条市壬生川財産区特別会計補正予算（第1回）について		議案第41号	西条市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第18号	令和7年度西条市一般会計予算について		議案第42号	西条市下水道条例の一部を改正する条例について	
議案第19号	令和7年度西条市国民健康保険特別会計予算について		議案第43号	西条市水道布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事、布設工事監督者の資格及び水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第20号	令和7年度西条市介護保険特別会計予算について		議案第44号	令和7年度西条市一般会計補正予算（第1回）について	
議案第21号	令和7年度西条市小松地域交流事業特別会計予算について		議案第45号	監査委員の任命について	同意
議案第22号	令和7年度西条市本谷温泉事業特別会計予算について		議案第46号	教育委員会委員の任命について	
議案第23号	令和7年度西条市畑地かん水事業特別会計予算について		議案第47号	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
議案第24号	令和7年度西条市内財産区特別会計予算について		議案第48号	令和7年度西条市一般会計補正予算（第2回）について	原案可決
議案第25号	令和7年度西条市壬生川財産区特別会計予算について		議案第49号	西条市廃棄物の処理及び環境美化に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	
議案第26号	令和7年度西条市後期高齢者医療保険特別会計予算について			議案第38号 西条市廃棄物の処理及び環境美化に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例についての撤回について	承認
議案第27号	令和7年度西条市水道事業会計予算について		委員会提出	西条市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第28号	令和7年度西条市病院事業会計予算について		選挙第4号	愛媛県後期高齢者医療広域連合議員の選挙について（明比卓志）	指名推選
議案第29号	令和7年度西条市公共下水道事業会計予算について		請願第1号	選択的夫婦別姓制度を導入せず、旧姓の通称使用の法制化についての意見書提出を求める請願	継続審査
議案第30号	西条市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について		請願第2号	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止を求める意見書提出を求める請願	不採択
議案第31号	西条市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について		所管事務調査	東予（東部）圏域消防指令業務共同運用	継続審査
議案第32号	西条市税条例の一部を改正する条例について			議員の派遣の承認について	承認
議案第33号	西条市手数料条例の一部を改正する条例について				
議案第34号	西条市立学校給食センター設置及び管理条例の一部を改正する条例について				

議員別 議案等賛否一覧表

上表には議案などの審議結果を、下表には賛否が分かれた議案など（上表の網掛け部分）の状況を掲載しています。（現議員数28名）

議員名 議案等 (賛成:反対)	1 三浦 颯	2 高木 新治	3 渡部 勤文	4 玉置 公正	5 八木 邦靖	6 日野 克則	7 柳原 政彦	8 伊藤 良二	9 黒川 理恵子	10 越智 由美子	11 高橋 淑子	12 森川 亜紀	13 佐々木 充	14 三好 彦彦	15 高橋 保彦	16 藤井 武彦	17 川又 由美恵	18 井上 浩二	19 真鍋 伸	20 高橋 章哲	21 城戸 力	22 佐伯 利彦	23 西坂 壽博	24 行元 俊幸	25 越智 輝雄	26 一色 功	27 武田 孝司	28 伊藤 孝司
議案第38号撤回	25:2	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	25:2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	25:2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	25:2	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35～37号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39～41号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	25:2	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	7:20	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ ○：議案などに対して賛成 ×：議案などに対して反対

※ 川又由美恵議員は、議長職のため表決に加わりません。

西条自民

クラブ

一色 輝 雄 議員



(代表質問)

- 1 学校規模等適正化について
- 2 地下水保全について
- 3 市長と職員の意思疎通について

学校規模等適正化に対する 教育委員会の

今後の対応は？

問

西条市学校適正規模・適正配置等審議会から教育長に、本年1月に提出された答申書の内容はどのようなものだったのか。

また、学校規模等適正化について、教育委員会としては、今後、どのように対応しているのか。

答

答申では、学校が一定規模にあることが必要で、小学校においては複式学級、中学校においては単学級を解消することを最優先とし、クラス替えが可能な規模を確保していくこととしている。

また、小規模特認校制度や小・中一貫教育といった、さまざまな子どもたちの特性に応じた学校作りに配慮がされており、よりよい教育環境を目指した内容となっている。

更に、附帯意見として、スクールバスの活用、学校跡地の有効活用、地元協議会の設置などが示されており、再編に当たっては、地域の皆様とのじゅうぶんな合意形成を図りながら進める必要がある。

今後の進め方としては、まずは、市長と教育委員会の意思統一を図り、答申を基に基本計画案を作成し、パブリックコメントなどを経て、計画の策定作業に進みたい。

学校規模等適正化に対する

市長の考えは？

問1

市長は1月22日の総合教育会議で「再編

を進める目標期間の延長や計画案自体を再検討することもありえる」「教育の在り方を検討する新たな審議会を立ち上げる」と発言しているが、どのような真意があるのか。

答1

「再編を進める目標期間の延長や計画案自体を再検討することもありえる」との発言については、スケジュールありきで結論を急ぐことなく、また、小規模校の存続も含め、あらゆる選択肢を排除することなく、丁寧に検討を進めていただきたいということである。

また、「教育の在り方を検討する新たな審議会を立ち上げる」との発言については、審議会の答申の中に「保護者をはじめ地域の理解が得られるよう話し合いの場としての地元協議会を設置するなど、じゅうぶんな協議を経てから進めていただきたい」とあり、私の思いも同様である。

問2

今後、どのような方向性が示されるとしても、市長と教育委員会の連携・協力は、非常に重要であ

る。市長は、学校規模等適正化についてどのように考えているのか。

答2

子どもの心の問題や登校拒否、教員の過重労働によるストレスの増大や部活動の在り方など、教育に関する課題が山積する中、小・中学校の規模適正化が、喫緊の課題であることに異論はない。このような中、審議会から出された答申を基に、教育委員会において策定予定の計画案に基づき、検討が進められるが「全ては子どものために」という理念を念頭に、結論を急ぐことなく、多くの皆様の声を聞きながら、丁寧に検討を進めたい。

かけがえのない地下水を

守るために！

問

本市の財産である地下水を守るため、西条市地下水の保全及び管理並びに適正な利用に関する条例を令和5年4月1日に施行して以降、どのような取組をしてきたのか。また、今後はどのように取り組んでいくのか。

答

条例施行後の地下水保全に向けた取組としては、水質、水量のモニタリングとして、市内23か所での地下水水位の観測や、市内一般家庭70か所での水質調査に加え、将来的な環境変化などへの対応を見据えた調査研究を大学に委託して実施している。

また、西条市地下水保全協議会を設立し、地下水の将来ビジョンや必要な施策などについて協議を進め、多くの水を利用する農業者との情報交換や小学校などへの出前講座などを通じ、育水の普及・啓発に努めている。

今後は、西条市地下水保全協議会で地下水の涵養面と利用面の両面からの対策の実施に向け、協議を行っていく。

また、市民などが地下水の現状や地域公水、育水の理念などについて理解を深め、節水などの行動変容につながるよう、普及・啓発活動の充実を図るなど地域が一体となった地下水保全に取り組みたい。



佐伯利彦議員



- (議案質疑)
1 考古歴史館管理運営事業について
(一般質問)
1 猿被害について

モンキードッグや捕獲おりを導入する考えは？

問

近年、ニホンザルによる農作物被害が多発しているが、対策として、モンキードッグを導入する考えはないのか。

また、早急に実施可能な対策として、ニホンザル用の大型捕獲おりを導入する考えはないのか。

答

モンキードッグの導入により、群れで出没していたニホンザルが激減し、追い払いを繰り返すことで、農作物被害がほとんどなくな

った事例があることは承知している。

しかし、モンキードッグの導入には、適性のある犬を選定する必要があること、県内には訓練施設がないこと、犬の訓練に一定の費用と時間がかかることなど、実施する上での課題が多いと認識している。

また、ニホンザル対策は、追い払いだけではなく、電気柵などによる防除も併せて行うことで、対策の効果が継続するものと考えている。

これらのことから、現行の本市の鳥獣被害防止計画ではモンキードッグの導入は規定していないが、今後は、先行事例の情報収集を行いながら、



山のふもとに設置した大型捕獲箱

地域からの要望があれば、実施可能な対策について関係者と協議を行い、当該計画の変更や各種補助事業の活用も含め、支援の検討を進めていきたい。

大型捕獲おりの導入に当たっては、国や県の補助事業の活用が考えられるが、おりの設置者や設置場所、管理方法、費用負担など、検討課題も多いため、今後、関係者と協議を重ね、導入について検討を進めていきたい。

井上浩二議員



(議案質疑)

- 1 西条市廃棄物の処理及び環境美化に関する条例の一部を改正する条例について
(一般質問)
1 独居高齢者等へのごみ出し支援制度について

独居高齢者などへの

ごみ出し支援は？

問

ごみ出しが困難な独居高齢者などへの支援について、令和5年3月定例会での答弁では、庁内関係部局と連携を図り、高齢者の安心・安全な生活に資するサービスについて調査・研究をしていきたいとのことであった。

ごみ出し支援制度を検討する中で想定される対象者やごみの収集方法、安否確認、実施時期はどのように考えているのか。

答

本市において想定されるごみ出し支援の対象者については、県内他市の実施事例を参考に、単身世帯や65歳以上の年齢、要介護状態などの要件を関係部署と協議の上、財政的負担も考慮し、基準を設定したい。

また、収集方法については、週1回の回収の事例が多いことから、燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみを同時に回収する方法が妥当であると考えている。排出場所についても、マンションなど2階以上



高齢者などへのごみ出し支援のイメージ

の建物や、適正な排出場所がない場合の対応も検討しておく必要があると考えている。

ごみ出し支援時の安否確認については、高齢者の見守り、孤独死防止の一助につながることから、福祉部局とも連携を図り、要支援者の事前把握や、緊急連絡先の報告の義務化など、効率的な運用を検討した上で制度化することが必要と考えている。

高齢者のごみの戸別収集は、県内11市中9市で実施しており、また、環境省も導入を推奨しているため、実施については、福祉部局との調整の下、体制の構築や制度設計、経費の算定など新制度に必要な諸条件の検証を行い、適切に判断していきたい。

藤井武彦議員



- (議案質疑)
- 1 新エネルギー等関連設備導入促進事業費補助金について
 - 2 東予東部3市こども急患センター運営事業について

脱炭素社会の実現を！

電気自動車購入補助金

問

新たに電気自動車を補助対象とした経緯及び対象となる車両や申請方法はどのようなになっているのか。

答

令和4年度に西条自民クラブから政策提言を受け、SDGsの理念に基づき、具体的な検討を行ってきた。

また、市民アンケート調査においても、補助制度のニーズが高いという結果もあり、

令和7年度から補助制度を開始することになった。

補助対象車両は、国の補助制度の対象となる電気自動車とし、購入した市民に対し、家庭で使用するこども急患センターが市内であること、市税の滞納がないことなどの要件を定め補助金を交付する。申請は4月1日から開始し、1台当たり20万円の定額補助とし、30台分を先着順で受け付ける。広報紙やSNSなどで広報するほか、申請代行者になることができる自動車販売店とも連携し周知を図ることとしている。



東予東部3市こども急患センター

問

子どもを抱える保護者の負担軽減を！

令和7年4月から、今まで空白だった診療時間

間に、東予東部3市こども急患センターで一次救急医療が受診できるようになるが、新

居浜市まで行くには移動時間がかかるため、市単独の実施はできなかったのか。

答

東予東部3市は特に小児医師が少ない圏域であり、小児一次救急医療の維持が困難になっている。広域化について、愛媛大学医学部から提案があり、協議の結果、同大学の協力を得てこども急患センターを運営することになったもので、専門医不足の中、限られた医師を分散させることは不可能であり新居浜市に集約することになった。

佐々木

充議員



- (議案質疑)
- 1 グローバルイングリッシュスクール事業について

外国語指導助手の

配置による効果は？

問

本事業で令和6年9月からALT(外国語指導助手)が勤務していることによる成果について、どのように評価しているのか。

また、事業をより効果的に推進するための課題や改善点についてはどのようなものがあるのか。

答

ALT配置後の成果として、授業がほぼ英語で行われる中で、児童・生徒たちが積極的にコミュニケーションを取り、英語への関心が高まっていると認識している。

学校からは、児童・生徒が英語での会話を楽しみながら学んでいる様子が見受けられるという意見や、レベルの高い英語授業が行われているという意見を聞いている。

また、保護者からは、子どもたちが家で「英語の授業が楽しかった」と話すことが多くなり、英語教育がより身近で楽しいものになったという声が多くあることから、本事業については、児童・生徒や保護者に高く評価されており、開始から半年程度ではあるが、



楽しみながらレベルの高い英語授業が行われている

事業効果が表れていると認識している。

課題としては、教職員からの意見として、現在のALTの配置数では、小学校5・6年生の週2回の授業の内、1回しか実施できないため、教職員の負担軽減の観点からも週2回の授業を実施できる配置数が望ましいとの意見が多く寄せられている。令和7年度は小学校5・6年生で週2回の授業が実施できるよう、ALTを6名増員するための予算を計上しており、更にALTの能力を生かした効果的な事業実施ができると考えている。

伊藤 良二議員



- (議案質疑)
- 1 森林整備基金積立金・西条産材・CLT活用促進事業について
 - 2 統合型GIS整備事業について
 - (一般質問)
 - 1 市民に向けた積極的な情報発信の考えについて
 - 2 各種団体等と連携した取組について
 - 3 安心・安全に暮らせる地域社会づくりについて

市民を守るため

防犯カメラの設置を!

問 1

通学路の安全点検は、子どもたちが危険を感じないかと思いが、どのように行っているのか。

また、住宅が連担してない場所など、人の目が少ない箇

所への防犯カメラなどの設置については、どのように考えているのか。

答 1

教職員やPTAが中心となって、夏休み期間中に通学路の安全点検を行っているが、夜間の点検は実施しておらず、関係機関とも協議を進めたい。

また、現時点において、市として防犯カメラを設置する考えはないが、今後における犯罪の発生状況や他の自治体における防犯カメラの設置状況などを注視しつつ取り組みたい。

問 2

近年、全国的に凶悪な強盗事件などが多発しており、高齢者世帯を中心に不安が広がっているが、市としてどのような防犯対策に取り組んでいるか。

また、大洲市が自治会による防犯カメラの設置に対し助成制度を創設したが、本市において、同様の助成制度を設ける考えはないか。

答 2

本市においては、防犯対策として、地域

セーフティーパトロール隊の活動、青パトによる防犯パトロールに取り組んでおり、防犯灯は約8千灯、防犯カメラは約150基設置している。

また、自治会が防犯カメラを設置する際の助成制度の創設については、人口減少や自治会加入率の低下傾向を受け、設置後、自治会による維持管理が困難になる懸念が払拭できず、現状では助成制度を設ける考えには至っていない。



柳原 政彦議員



(一般質問) 1 包括的民間委託の導入について

公共施設などにおける

包括管理導入の考えは?

問

本市では、公共施設などへの包括的民間委託の導入について調査・検討が進められていると聞き及んでいるが、現在の検討状況はどのようなになっているか。

また、道路の維持管理についても、包括管理の導入が必要ではないかと考えるが、どのように考えているか。

答

公共建築物への導入の検討状況については、まず、庁内で公共施設を管理する部署へ業務量及び施設点検頻度、維持管理上の問題点などを聞き取りながら、保守点検や修繕業務を担っている地元事業者への聞き取りを行うなど、導入に向けて課題の抽出や先進自治体視察などを積極的に行ってきた。

加えて、令和6年10月には、全国で包括的民間委託業務を受注している大手ビルメンテナンス事業者などを対象に、行政だけでは気づきにくい本市における課題や入札公募した場合の参入意欲の確認など、サウンディング型市場調査を実施したところである。

その結果、本市の公共施設



市内の公共施設や社会インフラについて包括管理の検討を進めている

の管理において有効なものも見受けられたが、年間のマネジメント費用において、各社で大きくばらつきが見られたため、本市の公共施設の適正管理に有効であると考えられる対象施設や業務内容などについては、引き続き検討が必要であると考えている。

また、公共施設のみならず、社会インフラへの包括的民間委託の導入は一定の効果があらると考えており、本年2月には内閣府の制度を利用した講習会を市職員及び市内事業者40社の参加の下、開催したところである。

今後は、サウンディング型市場調査の実施を目指すなど、導入に向けた調査・研究を引き続き行っていきたい。

公明党
西条市議員

城戸 力 議員



- (議案質疑)
- 1 空家等対策事業について
 - (一般質問)
 - 1 丹原中央公園の維持管理について
 - 2 食品ロス削減に向けた取組について

管理協議会への支援は？

問 丹原中央公園を管理する協議会の構成員は、

高齢のかたが多くなっているが、維持管理作業に対する負担軽減や支援について、どのように考えているのか。

答

作業される高齢のかたの負担にならない方法

などを管理協議会と調整し、引き続き連携を図り、持続可能な公園管理に努めたい。



丹原中央公園

高橋 淑子 議員



- (一般質問)
- 1 不登校児童・生徒について
 - 2 認知症による徘徊への対策について

学びの多様な学校を

設置する考えは？

問

多様化する不登校児童・生徒に配慮した学校として、学びの多様な学校を設置する考えはないのか。

答

多様な学びを提供する学びの多様な学校は、不登校児童・生徒の受け皿となる優れた施策であると認識している。

本市においても、今後、必要となる可能性もあることから、学校適正規模・適正配置での選択肢の一つとして、小規模特認校も含めた中で、調査・研究していきたい。

会派に
属さない議員

高橋 章 哲 議員



- (議案質疑)
- 1 地域公共交通活性化対策事業について
 - (一般質問)
 - 1 女性管理職の登用について

どう取り組む？

女性管理職の登用

問

女性管理職の登用率向上に向けた取組はどのように行っているのか。

答

令和6年度までに登用率20パーセントを数値目標に掲げて取り組んできた。令和6年4月1日現在で18・6パーセントと、目標の達成に至らなかったが、着実に取組は進んでいる。

引き続き、ワークライフバランスの確保や昇任意欲の喚起に取り組んでいきたい。

真鍋 顕 伸 議員



- (議案質疑)
- 1 森林経営管理推進事業・林業経営体育成支援事業について
 - 2 西条市廃棄物の処理及び環境美化に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

今後の対応は？無料ごみ袋

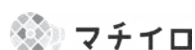
問

現在、無料ごみ袋はどの程度使用されているのか。市民の声を受け、今後どのように対応するのか。

答

令和7年1月に排出されたごみ袋のうち約6割が無料ごみ袋であった。市民から使用期限に対する要望などが寄せられているが、今回の審議結果を迅速、丁寧に市民へ周知し、ごみステーションに張り紙をすることなどで混乱を回避したい。

パソコンやスマートフォンなどいつでも市議会だよりをご覧ください！



広報誌が読める無料アプリ



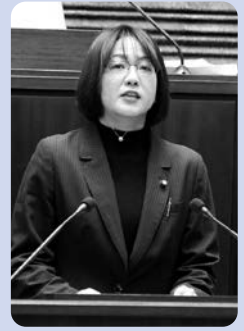
県内の電子書籍閲覧サイト



全国の電子書籍閲覧サイト



越智 由美子 議員



(議案質疑)

- 1 企業誘致対策事業について
- (一般質問)
- 1 給食費の無償化について
- 2 公立保育所・幼稚園・認定こども園での主食の提供について
- 3 補聴器購入助成について

子どもたちに

温かい食事を！

問

公立保育所・幼稚園・認定こども園において3歳以上児に主食を提供する考えはあるのか。

答

主食提供には多額の費用がかかることや保護者の費用負担も生じることから他市の状況を注視したい。

黒川 理恵子 議員



(議案質疑)

- 1 塵芥処理費について
- 2 西条市廃棄物の処理及び環境美化に関する条例の一部を改正する条例について
- (一般質問)
- 1 企業誘致に向けた産業用地の確保について

ごみ袋の使用期間延長

市民への影響は？

問

条例改正に伴ってどのような影響があると考えているのか。

答

今回の改正は経過措置期間を1年延長するもので、令和4年9月の改正から大きな変更はないため、著しく不利益を被るかたが存在することは想定していない。

八木 邦 靖 議員



(一般質問)

- 1 食料安全保障及び食の安全・安心について
- 2 オーガニック給食導入について

有機農業の取組支援を！

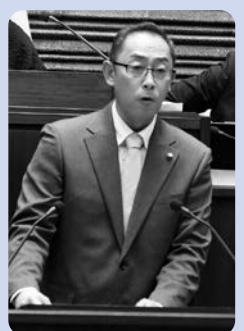
問

減農薬、減肥料から有機農業、自然栽培農業への段階的な移行が必要と考えるが、本市の有機農業は、どのような現状か。また、今後どのように取り組むのか。

答

有機農業の耕地面積比率は全国平均より低い水準であるが、有機農業に取り組める体制の整備やスマート農業の推進など、本市の農業を守り、育てるため、昨年10月西条市農業の産地戦略推進協議会を立ち上げ、今後議論していくこととしている。

渡部 勤 文 議員



(一般質問)

- 1 液状化に対する取組について

液状化マップを活用し

防災意識の向上を！

問

液状化マップを更新する予定はあるのか。また、市民への周知などどのようなにしているのか。

答

現在、液状化マップを更新する予定はないが、今後公表される国などの見直し被害想定結果を注視したい。液状化マップは平成27年に全戸配付しており、ホームページでも公開している。

また、自治会などを対象とした防災説明会などの機会において液状化の危険性や備えなどを市民に周知・啓発する媒体として活用している。

愛媛県後期高齢者医療
広域連合議員の選挙

愛媛県後期高齢者医療広域連合議員の選挙が行われ、明比卓志氏が当選されました。

各種委員の任命に同意

次のかたがたをそれぞれ任命することに同意しました。

監査委員

高橋 保氏

教育委員会委員

一色 一成氏

人権擁護委員

候補者の推薦について

人権擁護委員候補者に、砂田宏司氏を推薦することに異議ないものとなりました。

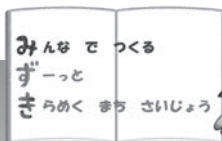




本館6階の
議場はこの辺り



みずき議員の もっと知りたい 西条市議会!

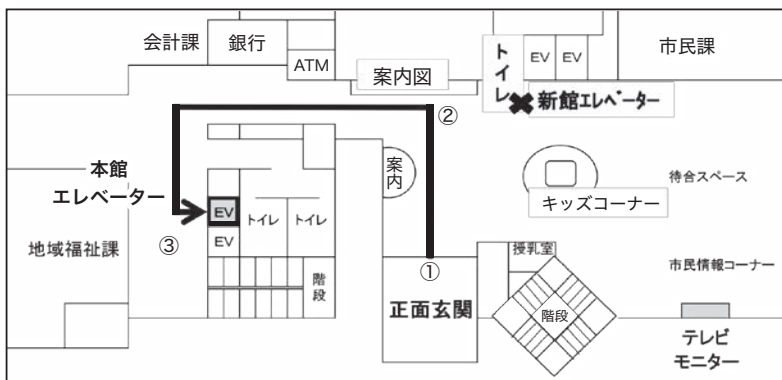


みずき議員

ときどき、議会だよりやSNSに登場する「みずき議員」は、平成29年から活躍する西条市議会のマスコットです。

今回は、西条市議会を御案内します。

プロフィールはこちら→



傍聴席には、本館のエレベーターで7階までお上がりください。

ねえねえ、市議会って見ることが
できるって知ってる?

本会議では、市の政策や身近な
地域のことを話し合っ、いろん
なことが決まりよるんよ!みんな
が選挙で選んだ、市長さんや議員
さんを見に行ってみよう



えつらん 「閲覧」



本会議の発言記録である「会議録」は、市内の図書館や公民館で閲覧できるけん。

インターネットでも検索できるけんね。



しちょう 「視聴」



本会議をインターネットでライブ中継しよるけん、パソコンやスマホで見れるんよ。

本会議終了後、一週間程度で録画配信しよるけん。



※映像を許可なく複製転用することはできません。

ぼうちょう 「傍聴」



本会議開催当日、本館7階の傍聴席から本会議の様子を直接見ることができるんよ。



受付名簿にご記入ください!

手話通訳や
要約筆記は
予約してね!



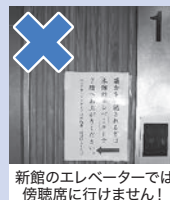
傍聴するときの
お約束はこちら



左側のエレベーターで7階へ



左に曲がって本館へ



新館のエレベーターでは
傍聴席に行けません!



正面玄関から入る

総務委員会・分科会での主なQ&A

3/14 開催
付託議案 8件
請 願 2件

クラウドファンディング 活用支援事業について

Q これまで予算計上されていたSIB推進支援業務委託料及びつながり広がるチャレンジ応援事業交付金を本事業に変更した理由は？

A 本事業はソーシャルビジネスに取り組む事業者が、民間が実施するクラウドファンディングを活用して資金調達する際の手数料を一部補助するものである。

また、平成30年度から実施してきたSIB事業については、事業者の募集開始から事業完了までの手続きを年度内に行う必要があり、事業に取り組む期間が実質半年程度となるなど、事業者に負担が大きかった。

このため、より柔軟に資金調達が可能となる民間のクラウドファンディングを活用する事業者に対し支援することとした。

避難行動要支援者支援事業 について

Q 令和6年度の実績及び令和7年度の取組内容は？

A 令和6年度から開始した本事業は、福祉サービスを利用する高齢者などでハザードマップ上、危険な場所に居住するなどのうち、災害時に自力で避難することが困難な個人の個別避難計画を、福祉事業者の協力を得て作成するものである。

令和6年度当初予算では、本計画の対象者を約千500人と見込んでいたが、事業の進捗に伴い、入院中のかた、市外へ転出しているかたなどが判明したことから対象者を約900人に修正した。このうち、令和6年度は約500人の計画が作成できると見込んでおり、令和7年度には、残りの約400人に新たに本計画作成の対象者となると見込まれる約200人を加えた合計600人の計画を作成する予定である。

福祉文教委員会・分科会での主なQ&A

3/14 開催
付託議案 19件

西条市下水道条例の一部を 改正する条例について

Q 令和6年12月定例会では、平均改定率28・6パーセントとしていた議案を、今回値上げ幅を縮小し平均改定率25・5パーセントとした根拠は？

また、公営企業として独立採算制が基本原則であるが経費回収率100パーセントを達成するには、今後改定を何回行う必要があるのか？

A 総務省が公表している四国における消費者物価指数において、令和5年と令和6年を比較すると、3・1パーセント上昇しているため、物価の上昇を考慮し下水道使用料の値上げ幅を3・1パーセント縮小した。

また、今後3年ごとに今回と同様の改定率で改定を行った場合、令和16年度に経費回収率100パーセントを達成する見込みであるため、今回を含めて4回の改定を行う必要がある。下水道

使用料の改定に当たっては、公共下水道と浄化槽世帯のバランスを的確に捉えた上で、早急に公共下水道の経費回収率100パーセントを目指すことが肝要である。

新エネルギー等関連設備 導入促進事業費補助金 について

Q 新たに電気自動車も補助対象となるが、充電設備の整備はどのような状況なのか？

A 市内には充電設備が24拠点は未整備である。民間事業者のサービスを利用して整備を行っている自治体が増えているため、本市においても、民間の普及状況なども鑑みながら、公共施設への整備について検討したい。



石鎚山ハイウェイオアシスに設置されている充電設備



石鎚エリアの魅力を伝えるソラヤマいしづち

産業建設委員会・分科会での主なQ&A

3/17 開催
付託議案 11件

株券売払収入について

Q 市長はこれまで、株式会社ソラヤマいしづちの役員として経営に参与していたが、株式譲渡を行い、役員から退くことで市の意向を反映させづらくなるのではないかと考えるが、同社がこれまで行ってきた地域振興及び公共性の高い事業運営をどのように担保するのか？

A 一部株式譲渡後も、本市は250株を保有し筆頭株主の立場で関わることとなる。また、引き続き同社取締役として、在任することとなる久万高原町、いの町、大川村の3町村長と連携し、3町村長を通じて発言できるものと考えている。

西条市手数料条例の一部を改正する条例について

Q 建築確認にかかる手数料について、今回、どのような経緯で改正に至ったのか。
また、本市の設定する手数料が独自の手数料を設定している松山市より高いことについて、どのように考えているのか？

A 令和7年4月1日からカーボンニュートラルの実現に向け、新築建築物などに建築物エネルギー消費性能基準（省エネ基準）への適合が義務付けられ、建築確認時の審査が増えることから、当該審査にかかる手数料を上乗せする改正を行うものである。

本市の手数料については、松山市より高くなっているが、今治市、新居浜市と同様に、愛媛県が作成した基準に倣い改正するものであるため、御理解いただきたい。

ごみ対策調査特別委員会

西条市廃棄物の処理及び環境美化に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

3/18・3/21・
3/26 開催

3月18日に開催した本委員会では、旧指定ごみ袋の使用期限を1年間延長する改正案について、審査を行いました。同日の審査では結論に至らず、21日に開催した本委員会で、市長から議案を撤回し、修正して再提出したい旨の申し出があり、これを承認しました。

定例会最終日（26日）の本会議において議案撤回を承認しました。その後、市長から迅速な市民周知及び説明に努めることで混乱防止を図り、更に期間を短縮することによって、ごみ減量に資するため約3か月の期間短縮が可能として、旧指定ごみ袋の使用期限を令和7年12月30日まで延長する改正案が提出され、再度、本委員会において審査を行い、本会議での採決の結果、挙手全員、原案可決となりました。

本委員会での主な審査の内容は次のとおりです。

Q 旧指定ごみ袋の使用期限を延長することについて、市民への周知はどのように行うのか？

A 防災行政無線や、ごみステーションへの掲示、市のホームページやフェイスブックなどあらゆる手段を活用し対応したい。

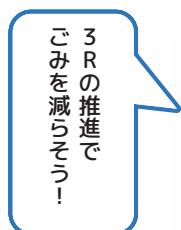
Q 既に旧指定ごみ袋を市へ返還した市民への対応はどのようにするのか？

A 旧指定ごみ袋の返還を確認できるかたには対応したい。

Q 使用期限を再延長する可能性はあるのか？

A 再延長は考えていない。

無料で配られていた
旧指定ごみ袋の使用期限は
令和7年12月30日
までです。



令和6年度防災訓練を実施しました

西条市議会では、議会独自の災害対策として、災害時対応指針及び業務継続計画（BCP）を策定しており、防災意識の高揚と防災力の向上を図るため、毎年、防災訓練を実施しています。

今回は、3月12日の本会議終了後に防災訓練を実施しました。本会議開会中に南海トラフ地震が発生したことを想

に対する危機管理に努めて参ります。



市議会だよりの表紙写真募集中！

提出先などの詳細は、西条市議会ホームページをご覧ください。

提出先などの詳細は、西条市議会ホームページをご覧ください。



令和6年度議員研修会を開催しました

地方議会の議員に求められる能力や役割について、あらためて見識を深めるとともに、議員の資質の向上、議会の機能強化につながるため、近年、社会問題となっているハラスメント防止をテーマに、議員研修会を開催しました。

今回は、3月25日に、社会保険労務士法人ANSWER松山事務所の武田一展氏（本市出身）を講師に招き、事例

夏も近づく八十八夜♪
今年5月1日が八十八夜になります。そして、本議会だより5月号も第88号です。
冒頭の歌は、新芽を摘み取る茶摘みの歌ですが、本市に伝わる無形民俗文化財に登録された「石鎚黒茶」は、7月上旬に枝ごと収穫した茶葉を大きな蒸し器で蒸し、一次発酵させた後、手で揉み樽に入れて乳酸発酵させ、天日で乾燥します。この発酵方法は世界でも、高知県の碁石茶と「石鎚黒茶」だけと言われています。ほんのり酸味のあるさわやかな味の希少なお茶を、是非とも味わってください。

市議会だより編集委員会

委員長	藤井 武彦
副委員長	城戸 力
委員	高橋 章哲
佐伯 利彦	
西坂 壽博	
行元 博	
越智 俊幸	
一色 輝雄	
武田 功	
伊藤 孝司	

